

製品名: CD163 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21031**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:125kD;Observed MW:150kD

抗原情報

遺伝子名	CD163
別名	M130
遺伝子 ID	9332.0
SwissProt ID	Q86VB7
免疫原	ヒト CD163 の組み換えタンパク質

背景

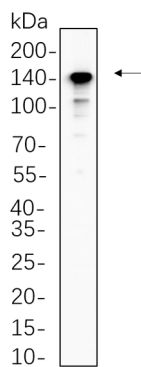
細胞局在: 膜性、細胞質性。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スカベンジャー受容体システインリッチ (SRCR) スー

パーファミリーに属し、単球およびマクロファージでのみ発現する。マクロファージによるヘモグロビン / ハプトグロビン複合体の除去およびエンドサイトーシスに関与する急性期制御受容体として機能し、遊離ヘモグロビンを介した酸化ダメージから組織を保護すると考えられている。また、このタンパク質は細菌に対する自然免疫センサーや局所炎症の誘発因子としても機能する可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。 [RefSeq 提供、2011年8月]

研究分野

-

画像データ



マウス脾臓細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンをCD163ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。